

令和2年度  
令和7年度

着 手  
計 画 変 更

# 県営中山間地域総合整備事業

県営土地改良事業計画書

(農業用排水施設整備)

県 名	岐 阜 県
地 区 名	や さ か
事 業 主 体	岐 阜 県

目 次

第1章	目 的	1	第4節	排水計画	20
				1. 計画基準雨量	20
				2. 計画排水方式	20
				3. 計画排水系統	20
				4. 計画排水量	20
				5. 排水対策	20
第2章	地域及び地積	1	第5章	主要工事計画	22
第1節	地 域	1	第1節	用水施設	22
第2節	地 積	1		1. 貯水池	22
				2. 頭首工	22
				3. 揚水機	22
				4. 用水路	22
第3章	現 況	2	第2節	排水施設	23
第1節	気象及び海象	2		1. 排水水門	23
	1. 一般気象	2		2. 排水機	23
	2. 特殊気象	2		3. 排水路	23
第2節	土地状況	3		4. その他排水施設	23
	1. 土地、土壌	3	第6章	附帯工事計画	24
	2. 土地利用の状況	4	第7章	工事の着手及び完了の予定時期	24
	3. 土地所有の状況	4	第8章	環境との調和への配慮	24
第3節	水利状況	5	第9章	換地計画の概要	24
	1. 用水状況	5	第10章	事業費の総額及び内訳	25
	2. 排水状況	7	第11章	効 用	26
第4節	道路現況	8	第12章	関連する事業	26
第5節	地域農業の概況	9	第13章	現況・計画図面	26
	1. 産業別就業人口	9			
	2. 経営耕地広狭別農家数及び主副業別農家数	10			
	3. 動力農機具及び主要家畜頭数	10			
	4. 主要作物作付状況	11			
	5. 農業の動向	12			
第6節	地域環境の概況	12			
第4章	一般計画	13			
第1節	事業計画の要旨	13			
	1. 要 旨	13			
	2. 事業別面積	13			
第2節	営農計画及び土地利用計画	14			
	1. 営農計画の概要	14			
	2. 土地利用区分	14			
	3. 作付方式	14			
	4. 生産計画	15			
第3節	用水計画	16			
	1. 計画基準年	16			
	2. 計画かんがい方式	16			
	3. 計画用水系統	16			
	4. 計画用水量	17			
	5. 水源計画	18			

## 第1章 目的

地区内の一部の未改修状況となっている農業用排水施設は、施設整備後から30年以上が経過し、老朽化や通水能力不足等が著しいため、安定的な農業用水の確保、排水の処理に支障を来すとともに、優良農地の保全等の弊害となっている。

このため、農業用排水施設の整備を行い、安定的な用水確保、排水処理による優良農地の保全を図り、組織営農の進展を目指すものとする。

## 第2章 地域及び地積

### 第1節 地域

(第1表)

事業名	地域	備考
農業用排水施設整備	岐阜県 中津川市 山口、坂下、川上	

### 第2節 地積

(R 2年 1月現在)

R 7年 6月現在 (第2表)

事業名	現況地目	田	畑		小計	原野	山林	その他			計	備考						
	市町村名	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)							
農業用排水施設整備	中津川市	29.8	0.3		30.1						30.1	この事業計画書に記載の面積は、原則として農地台帳による面積です。 <table border="1" data-bbox="1713 1098 1966 1157"> <tr> <td></td> <td>田</td> <td>畑</td> </tr> <tr> <td>内 農振農用地</td> <td>29.6</td> <td>0.3</td> </tr> </table>		田	畑	内 農振農用地	29.6	0.3
		田	畑															
	内 農振農用地	29.6	0.3															
計	29.8	0.3		30.1							30.1							
合計		29.8	0.3		30.1						30.1							

注) 1. 「地積」は土地登記簿地積(畦畔地積含む)。なお、換地計画を伴う事業は実測(図上)。単位は県営事業の場合、小数点以下四捨五入。団体営事業の場合、小数点以下2位四捨五入。

2. 「合計」欄は二以上の土地改良事業の重複面積がある場合の実面積(以下各章同じ)。

### 第3章 現況 (変更前)

#### 第1節 気象及び海象

##### 1. 一般気象

(第3表-1)

観測所名	恵那	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備考
観測期間	S56年～H22年	5月～10月	11月～4月		
平均気温(℃)		20.5	5.4	13.0	参照：気象庁HP
降水量	平均(mm)	1,219.0	549.1	1,768.1	参照：気象庁HP
	基準年(mm)				
降水日数	平均(日)	74	56	130	参照：気象庁HP
	基準年(日)				
根雪期間		-	～	-	( - 日間)
無霜期間		-	～	-	( - 日間)
最多風向		西南西	最大風速 (風向)	11.4 m/s (南西)	最多風向発生時期 最大風速発生年月日
					1月～12月 S54.5.28

##### 2. 特殊気象

(第3表-2)

観測所名	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			備考	
	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率		
恵那																	
観測期間	S53年～R1年																
最大日雨量	(mm)	207.0	S58.9.28	1/35	195.0	H1.9.3	1/25	193.0	S51.5.25	1/24	179.0	H12.9.11	1/16	177.0	H23.9.20	1/15	参照：気象庁HP
最大時間雨量	(mm)	77.0	H17.8.5		75.0	S63.6.27		61.0	S63.9.25		52.5	H22.8.6		51.0	H1.9.20		参照：気象庁HP
最大4時間雨量	(mm)																
最大連続雨量	(mm)			/			/			/			/			/	
最大連続干天日数	(日)																

### 第3章 現況 (変更後)

#### 第1節 気象及び海象

##### 1. 一般気象

(第3表-1)

観測所名	恵那	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備考
観測期間	H3年～R2年	5月～10月	11月～4月		
平均気温(℃)		20.9	5.7	13.3	参照：気象庁HP
降水量	平均(mm)	1,228.2	577.1	1,805.3	参照：気象庁HP
	基準年(mm)				
降水日数	平均(日)	72	54	126	参照：気象庁HP
	基準年(日)				
根雪期間		-	～	-	( - 日間)
無霜期間		-	～	-	( - 日間)
最多風向	南西		最大風速 (風向)	25.2 m/s (南西)	最多風向発生時期 最大風速発生年月日
					1月～12月 H29.9.17

##### 2. 特殊気象

(第3表-2)

観測所名	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			備考	
	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率		
観測期間	S51年～R7年																
最大日雨量	(mm)	207.0	S58.9.28	1/28	195.0	H1.9.3	1/21	193.0	S51.5.25	1/20	190.0	R5.6.2	1/18	179.0	H12.9.11	1/14	参照：気象庁HP
最大時間雨量	(mm)	77.0	H17.8.5		75.0	S63.6.27		66.0	R6.9.12		61.0	S63.9.25		54.0	R5.6.2		参照：気象庁HP
最大4時間雨量	(mm)																
最大連続雨量	(mm)			/			/			/			/			/	
最大連続干天日数	(日)																

第2節 土地状況

1. 地形、土壌

(第4表-1-1)

事業名	地目 傾斜区分	田						畑・その他							受益地標高		備考	
		1/1000	1/1000	1/100	1/20	1/11.5	計	3°以下	3° ~ 8°	8° ~ 15°			15° ~ 20°	20° 以上	計	最高 (m)		最低 (m)
		以下	~ 1/100	~ 1/20	~ 1/11.5	~ 以上				8° ~ 10°	10° ~ 15°	8° ~ 15°						
農業用 用排水 施設整備	面積 (ha)			3.2	10.0	16.6	29.8	0.2	0.1						0.3	780	340	
比率 (%)			11	34	55	100	67	33						100				

注) 「畑・その他」欄は開畑に係る傾斜が8°~15°の場合8°~10°、10°~15°に区分。既耕地を対象とする事業は8°~15°。

(第4表-1-2)

項目 土壌統(区)名	土 壤 統 (区) 区 分 一 覧 表								面 積 (ha)				備考	
	土 壤 断 面								事 業 名					
	色	腐植	礫層	酸化 沈殿物	土 性			灰層 黒泥層 グライ 層	堆積様式	母材	農業用 用排水 施設整備	合計		
					表 土	下 層 土								
一 層					二 層	三 層								
強グライ土壌 粘土斑鉄型	黒色 黒色	表層	無	有	SCL	CL	LiC	無	水積	非固結 水成岩	4.5		4.5	D33
灰褐色土壌 マンガン型	黄褐 灰褐	無	無	有	CL	LiC	LiC	無	水積	非固結 水成岩	2.5		2.5	G61
黒色土壌 粘土火山腐植型	黒色 黒色	全層	無	無	CL	CL	-	無	洪積世 堆積	非固結 火成岩	2.7		2.7	H70
黒色土壌 粘土腐植型	灰色 黒色	表層多	無	有	SCL	CL	CL	無	洪積世 堆積	非固結 火成岩	3.3		3.3	H72
黒色土壌 壤土腐植型	灰色 黒色	表層多	無	無	SL	CL	L	無	水積	非固結 火成岩	17.1		17.1	H73
計											30.1		30.1	

注) 「土壌統(区)名」欄は水田にあつては施肥改善事業における土壌区、畑・未墾地にあつては地力保全事業における土壌統。

(R 2 年 1 月現在)  
R 7 年 6 月現在(第4表-3)

2. 土地利用の状況

事業名	土地利用区分 市町村名	耕地							採草放牧地 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶畑 (ha)	その他の 果樹園 (ha)	小計 (ha)						
農業用排水 施設整備	中津川市	29.8	0.3					30.1					30.1	
	計	29.8	0.3					30.1					30.1	
合計		29.8	0.3					30.1					30.1	

注) 「団体営事業の土地利用状況」は、灌漑排水、圃場整備のうち水源、排水ポンプを設置する場合。

3. 土地所有の状況

(第4表-4)

事業名	区分	個人有			共有			法人有			計	備考
		所有権	賃貸借権	使用貸借権	所有権	賃貸借権	使用貸借権	所有権	賃貸借権	使用貸借権		
農業用排水 施設整備	面積(農地台帳) (ha)	30.1									30.1	この事業計画書に記載の面積は、原則として農地台帳による面積です。
	関係戸数 (戸)	103									103	
	筆数 (筆)											
	権利関係	所有権	賃貸借権	使用貸借権	所有権	賃貸借権	使用貸借権	所有権	賃貸借権	使用貸借権		
	備考(受益者数)	103									103	

注) 「団体営事業」土地所有状況は、農地開発事業の場合。

第3節 水利状況

1. 用水状況

本地区の用水施設は、施設整備後の年数経過に伴う施設の破損が発生しており、安定した用水供給体制の確保に支障を来している状況にあり、水路機能喪失による持続的な営農実施に支障を生じることから、速やかな改修整備が必要とされている。

(1) 用水系統 別紙用水系統図参照

(2) 用水施設

(ア) 取水方法一覧表

(第5表-1)

事業名	項目 施設名	かんがい面積						計		水利権		慣行水利権		延取水量 (m <sup>3</sup> /s)	備考
		500ha以上		500ha~100ha		100ha未満		(箇所)	(ha)	(箇所)	(m <sup>3</sup> /s)	(箇所)	(m <sup>3</sup> /s)		
		(箇所)	(ha)	(箇所)	(ha)	(箇所)	(ha)								
農業用排水施設整備	貯水池														
	井堰					5	25.6	5	25.6			5	不明		
	自然取入口														
	揚水機														
	その他														
	計					5	25.6	5	25.6			5			
	貯水池														
	井堰														
	自然取入口														
	揚水機														
	その他														
	計														
合計						5	25.6	5	25.6			5			

注) 「施設名」欄は井堰、自然取入口、貯水池、揚水機、その他に区分。「かんがい面積」欄の()書きは面積の重複するもの。「延取水量」欄は平均取水量の合計。

現況用水系統図

矢柱用水

猿沢川

A	Q
0.9	0.0164
0.9	0.0028
-	
-	

井の沢用水

井ノ沢

A	Q
1.6	0.0312
1.6	0.0054
-	
-	

法力屋用水

外洞川

A	Q
3.3	0.0540
3.2	0.0104
-	
0.1	

大又用水

大沢川

A	Q
15.1	0.0573
15.0	0.0152
-	
0.1	

本沢用水

本沢川

A	Q
4.7	0.0915
4.7	0.0201
-	
-	

A:面積 (ha)	Q:用水量 (m3/s)
全体	代掻期
水田	普通期
輪換畑	
畑	

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

事業名	項目 施設名	施設名 又は 箇所数 (箇所)	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年 又は 更新年	改修を必要とする理由	備考
農業用排水施設整備	貯水池							
	井堰							
	自然取入口							
	揚水機							
	用水路	5	25.6	コンクリート	(2,927) 2,805 m	S40~50	老朽化	
	その他							
	計	5	25.6					
	貯水池							
	井堰							
	自然取入口							
	揚水機							
	用水路							
	その他							
	計							
合計		5	25.6					

注) 「施設名」欄は井堰、自然取入口、貯水池、揚水機、その他に区分。用水路の「箇所数」欄は系統数、「規模」欄は末端までの延長(単位m)。

2. 排水状況

地区内の排水路は、土水路で崩落が進行しているため、安定した排水処理の機能確保を図るための施設整備が必要となっている。

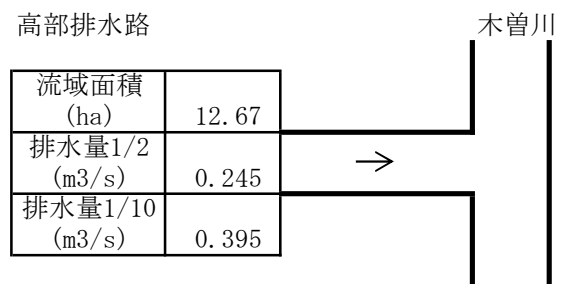
(1) 排水系統 別紙排水系統図参照

(2) 排水施設  
(ア) 排水方法一覧表

(第5表-4)

事業名	施設名		排水面積						計		排水慣行 (m <sup>3</sup> /s)	現況排水能力 (m <sup>3</sup> /s)	備考
			500ha以上		500ha～100ha		100ha未満						
			(箇所)	(ha)	(箇所)	(ha)	(箇所)	(ha)	(箇所)	(ha)			
農業用排水施設整備	自然	排水路					1	12.67	1	12.67	—	不明	
		水門											
	機械	排水機											
		水門及び排水機											
		排水路及び排水機											
	計						1	12.67	1	12.67			
	自然	排水路											
		水門											
	機械	排水機											
		水門及び排水機											
		排水路及び排水機											
	計												
合計						1	12.67	1	12.67				

現況排水系統図



(イ) 改修要する施設の一覧表

(第5表-5)

事業名	項目		施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年 又は 更新年	改修を必要とする理由	備考
	施設名								
農業用排水施設整備	自然	排水路	1	4.5	土水路	(341) 324 m	S40～S50	未整備	
		水門							
	機械	排水機							
		水門及び 排水機							
		排水路及び 排水機							
	計		1	4.5					

第4節 道路概況

該当なし

第5節 地域農業の概況

(R 2年 1月現在)

R 7年 6月現在 (第7表-1)

1. 産業別就業人口

項目 市町村名	総数	農業	林業	漁業	鉱業 採石業 砂利採取業	建設業	製造業	電気ガス 熱供給 水道業	運輸通信業	卸売業 小売業	金融業 保険業	不動産業 物品賃貸業	サービス業	公務	その他	備考
	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
中津川市	(40,093) 38,383	(1,950) 1,616	(197) 181	(6) 3	(28) 30	(3,239) 2,964	(12,593) 12,381	(192) 173	(1,666) 1,547	(5,164) 4,944	(450) 413	(283) 280	(12,081) 11,863	(1,037) 1,000	(1,207) 988	
計	(40,093) 38,383	(1,950) 1,616	(197) 181	(6) 3	(28) 30	(3,239) 2,964	(12,593) 12,381	(192) 173	(1,666) 1,547	(5,164) 4,944	(450) 413	(283) 280	(12,081) 11,863	(1,037) 1,000	(1,207) 988	
比率 (%)	(100) 100	(5) 4	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(8) 8	(31) 32	(0) 0	(4) 4	(13) 13	(1) 1	(1) 1	(31) 31	(3) 3	(3) 3	

(参考資料：2015国勢調査 小地域集計(総務省統計局) 第11表 産業(大分類), 男女別15歳以上就業者数 -町丁・字等)

参考資料：2020国勢調査 令和2年国勢調査 就業状態等基本集計 第10-3表 男女, 産業(大分類), 職業(大分類)別就業者数(15歳以上)-全国, 都道府県, 市区町村

(R 2年 1月現在)  
R 7年 6月現在 (第7表-2)

2. 経営耕地広狭別農家数及び主副業別農家数

区分 市町村名	農家 総戸数 (戸)	経営耕地広狭別農家数(戸)											1戸当たり平均農用地面積(ha)					主副業別農家数(戸)			備 考
		0.3 ha 未満	0.3 ～ 0.5	0.5 ～ 1.0	1.0 ～ 1.5	1.5 ～ 2.0	2.0 ～ 3.0	3.0 ～ 5.0	5.0 ～ 10.0	10.0 ha 以上	20.0 ha 以上	自給的 農家	田	畑	樹園地	計	草地	合計	主業	準主業	
中津川市	(5,032) 4,272	(68) 38	(960) 739	(1,067) 724	(229) 174	(69) 60	(34) 27	(22) 21	(15) 10	(4) 4	(8) 11	(2,556) 2,464	(0.65) 0.73	(0.15) 0.17		(0.80) 0.90		(0.80) 0.90	(-) 127	(-) 212	(-) 1,413
計	(5,032) 4,272	(68) 38	(960) 739	(1,067) 724	(229) 174	(69) 60	(34) 27	(22) 21	(15) 10	(4) 4	(8) 11	(2,556) 2,464	(0.65) 0.73	(0.15) 0.17		(0.80) 0.90		(0.80) 0.90	(-) 127	(-) 212	(-) 1,413
比 率 (%)	(100) 100	(1) 1	(19) 17	(21) 17	(5) 4	(1) 1	(1) 1	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(52) 59	(81) 81	(19) 19		(100) 100		(100) 100	(-) 7	(-) 12	(-) 81

※主副業別農家数は、前回の計画変更では別項目であったため、変更前は-とする。

※農家総戸数は、経営耕地広狭別農家数の合計数となる。

(参考資料：2015農林業センサス II 農業経営体 3経営耕地面積規模別経営体数、第65次東海農林水産統計年報)

参考資料：2020農林業センサス III 農業経営体(個人経営体) 1主副業別経営体数、VI総農家等 1総農家数、II 農業経営体(総数) 3経営耕地面積規模別経営体数、第71次東海農林水産統計年報 IV 耕地の部 2耕地面積(市町村別)

(R 2年 1月現在)  
R 7年 6月現在 (第7表-3)

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

項目 市町村名	動 力 農 機 具								主 要 家 畜								備 考
	田 植 機		トラクター		コンバイン				乳 用 牛		役 肉 牛		豚		採 卵 鶏		
	数 量 (台)	経営体数 (経営体)	数 量 (台)	経営体数 (経営体)	数 量 (台)	経営体数 (経営体)	数 量 (台)	経営体数 (経営体)	数 量 (頭)	経営体数 (経営体)	数 量 (頭)	経営体数 (経営体)	数 量 (頭)	経営体数 (経営体)	数 量 (100羽)	経営体数 (経営体)	
中津川市	(1,550) -	(1,506) -	(2,092) -	(1,951) -	(1,100) -	(1,040) -			(644) 407	(15) 11	(x) x	(86) 65	(3,555) -	(3) -	(7,469) x	(8) 2	
計	(1,550) -	(1,506) -	(2,092) -	(1,951) -	(1,100) -	(1,040) -			(644) 407	(15) 11	(x) x	(86) 65	(3,555) -	(3) -	(7,469) x	(8) 2	
100経営体当数量 (台・頭)	(103) -	(107) -	(106) -						(4,293) 3,700	(x) x		(118,500) -		(93,363) x			
所有経営体数の割合 (%)	(30) -	(39) -	(21) -						(0.3) 0.3	(1.7) 1.5		(0.1) -		(0.2) 0.0			

※農業用機械を所有している経営体数と所有台数は、2020年農林業センサスより調査項目から削減された

(参考資料：2015農林業センサス II 農業経営体 14販売目的の家畜等を飼養している経営体数と飼養頭羽数、18農業用機械を所有している経営体数と所有台数)

参考資料：2020農林業センサス II 農業経営体(総数) 18販売目的の家畜等を飼養している経営体数と飼養頭羽数

(R 2 年 1 月現在)  
R 7 年 6 月現在 (第 7 表 - 4)

4. 主要作物作付状況

市 町 村 名	中津川市				計	作付割合 (%)	備考
総耕地面積 (ha)	(3,960) 3,810				(3,960) 3,810		
区分 作物名	作付面積 (ha)	作付面積 (ha)	作付面積 (ha)	作付面積 (ha)	作付面積 (ha)		
水 稻	(1,390) 1,260				(1,390) 1,260	(35) 33	
六 条 大 麦	(83) 50				(83) 50	(2) 1	
大 豆	(60) 25				(60) 25	(2) 1	
そ ば	(43) 49				(43) 49	(1) 1	
夏 秋 な す	(16) 9				(16) 9	(0) 0	
夏 秋 ト マ ト	(28) 27				(28) 27	(1) 1	
計	(1,620) 1,420				(1,620) 1,420	(41) 37	

作付面積は、市町村別の面積が掲載されているもののみ記載。

(参考資料：第65次 東海農林水産統計年報 V耕地の部 2耕地面積(市町村別)、VI農作物の部 1作付(栽培)面積、収穫量 (2)水稲(市町村別)、  
(4)麦類(子実用)(市町村別)、(6)大豆(市町村別)、(8)そば(市町村別)、(15)野菜 ウ野菜指定産地の市町村別作付面積、収穫量及び出荷量)  
参考資料：第71次 東海農林水産統計年報 IV耕地の部 2耕地面積(市町村別)、V農作物の部 1作付(栽培)面積、収穫量 (2)水稲(市町村別)、  
(4)麦類(子実用)(市町村別)、(6)大豆(市町村別)、(8)そば(市町村別)、(18)野菜 ウ野菜指定産地の市町村別作付面積、収穫量及び出荷量

5. 農業の動向 中津川市

項目 区分	農 家		土 地		主 要 作 物		大 家 畜		動 力 農 機 具		その他	地域指定等	備 考					
	B	A (現在)	B	A (現在)	作物名	B	A (現在)	家畜名	B	A (現在)				農機具名	B	A (現在)		
変化の状況 C年を100とする指数	総農家数	(92) 88	(81) 75	耕地	(97) 98	(95) 95	水稻	(96) 91	(87) 89	乳牛	(x) 68	(x) 43	動力 田植機	(80) 82	(66) -	農振計画 H17.7 特農 H5.9 山振 S47.2 過疎 R3.4 夏秋トマト S41.8 夏秋なす S48.3	A: 令和2年 2020年 農林業センサス B: 平成27年 2015年 農林業センサス C: 平成22年 2010年 農林業センサス	
	主業農家数	(-) 76	(-) 70	田	(97) 98	(96) 95	麦	(-) 113	(-) 112	肉牛	(x) x	(x) x	乗用型 トラクター	(86) 84	(72) -			
	準主業農家数	(-) 60	(-) 36	畑	(95) 95	(91) 94	大豆	(83) 86	(65) 31	豚	(x) 116	(x) -	コンバイン	(74) 85	(63) -			
	A (H27) R2 B (H22) H27 C (H17) H22 副業的農家数	(-) 88	(-) 65	樹園地	(-) -	(-) -	夏秋 トマト	(91) 93	(85) 90	採卵鶏	(x) 268	(x) x						
	農業就業人口	(84) 35	(30) 19				夏秋なす	(80) 94	(80) 82	ブロイラー	(x) x	(x) x						
変化の理由	・高齢化、後継者不足に加え、他産業への流出発生により減少傾向を示している。		・宅地等への転用、営農リタイアにより減少している。		・高齢化、後継者不足および農地面積の減少に伴い減少している。		・高齢化、後継者不足により減少している。		・高齢化、後継者不足により減少している。 ・秘匿数値のため不明。		※2020年より統計調査対象から除外されたため数値無し。							

※主業農家数・準主業農家数・副業的農家数は、前回の計画変更では別項目であったため、変更前は-とする。

参考資料：  
2020農林業センサス II 農業経営体(総数) 18販売目的の家畜等を飼養している経営体数と飼養頭羽数、  
III 農業経営体(個人経営体) 1主副業別経営体数、5年齢階層別の基幹的農業従事者数(仕事が主で、主に自営農業に従事した世帯員数)、VI 総農家等 1総農家数  
第67次 東海農林水産統計年報 V 耕地の部 2耕地面積(市町村別)、VI 農作物の部 1作付(栽培)面積、収穫量 (2) 水稻(市町村別)、(4) 麦類(子実用)(市町村別)、(6) 大豆(市町村別)  
(15) 野菜 ウ野菜指定産地の市町村別作付面積、収穫量及び出荷量  
2015農林業センサス II 農業経営体 14販売目的の家畜等を飼養している経営体数と飼養頭羽数、18農業用機械を所有している経営体数と所有台数、  
III 販売農家 1主副業別農家数、12年齢別農業就業人口(自営農業に主として従事した世帯員数)、V 総農家等 1総農家数及び土地持ち非農家数、  
第62次 東海農林水産統計年報 VI 耕地の部 2耕地面積(市町村別)、VII 農作物の部 1作付(栽培)面積、収穫量 (2) 水稻(市町村別)、(4) 麦類(市町村別)、(12) 大豆(市町村別)、  
(13) 野菜 ウ野菜指定産地の市町村別作付面積、収穫量及び出荷量  
2010農林業センサス II 農業経営体 12販売目的の家畜等を飼養している経営体数と飼養頭羽数、16農業用機械を所有している経営体数と所有台数、  
IV 総農家等 1総農家数及び土地持ち非農家数、V 販売農家 2主副業別農家数、9年齢別農業従事者数(自営農業に従事した世帯員数)  
第57次 東海農林水産統計年報 IV 耕地の部 1耕地面積、V 農作物の部 1 22年産作付(栽培)面積、収穫量 (1) 水稻、麦類、2 21 年産作付(栽培)面積、収穫量 (1) 大豆、  
(4) 野菜 イ指定産地の生産出荷実績

第 6 節 地域環境の概況

総面積のうち、約8割が森林であり、豊かな自然に囲まれた本市であるが、都市化の進展によりわずかず森林が減少している。  
古来から美林地帯と言われ、ヒノキ、アスナロ、ネズコ、サワラ、コウヤマキの「木曾五木」の産地であったが、近年では天然林が減少し、ヒノキの人工林が多くなっている。希少種であるヒトツバタゴやハナノキの自生地が点在するほか、岐阜県カテゴリーの絶滅危惧Ⅰ類に分類されているクラガリシダ、ミカワシオガマ、サクライソウなどの貴重な植物が数多く存在している。  
天然記念物のニホンカモシカや絶滅のおそれのある希少種は、ホンドオコジョ(絶滅危惧Ⅱ類)、ヤマネ(準絶滅危惧種)、フクロウ(準絶滅危惧種)等が生息している。

## 第4章 一般計画

### 第1節 事業計画の要旨

#### 1. 要 旨

地区内の一部の未改修状況となっている農業用排水施設は、施設整備後から30年以上が経過し、老朽化や通水能力不足等が著しいため、  
 安定的な農業用水の確保、排水の処理に支障を来すとともに、優良農地の保全等の弊害となっている。

このため、農業用排水施設の整備を行い、安定的な用水確保、排水処理による優良農地の保全を図り、組織営農の進展を目指すものとする。

#### 2. 事業別面積

(第8表)

事業名	農業用排水施設整備														合計
	水田	普通畑	牧草畑	果樹園	その他		小計	水田	普通畑	牧草畑	果樹園	その他		小計	
土地利用区分	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)		(ha)	(ha)
事業目的	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)		(ha)	(ha)
用水改良	25.4	0.2					25.6								25.6
排水改良	4.4	0.1					4.5								4.5
計	29.8	0.3					30.1								30.1

注) 1. 「事業目的」欄は用水改良、排水改良、畑地かんがい、区画整理、暗渠排水、客土、農道等の区分。

2. 「事業名」欄は圃場整備、農道整備、農地防災、農用地開発等事業計画名の区分。

第2節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

既存の水田を活用し、水稲主体の生産体制をもとに組織的営農の展開を図りながら、生産の効率化、営農の持続を目指す。

2. 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用区分	耕地							採草放牧地	原野	山林	その他	計	備考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草地 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他の樹園地 (ha)	小計 (ha)						
農業用排水施設整備	現況	29.8	0.3					30.1					30.1	
	計画	29.8	0.3					30.1					30.1	
	現況													
	計画													
	現況													
	計画													
計	現況	29.8	0.3					30.1					30.1	
	計画	29.8	0.3					30.1					30.1	

3. 作付方式 該当なし

4. 生産計画

(第9表-3)

事業名	項目		作付面積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当収量 (kg/10a)			生産量 (t)			同左生産量増減の内訳 (t)		備考	
	土地利用区分	作物名	現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減	単位面積当収量増加		
農業用排水施設整備	水田	表作	水稻	(21.1) 21.1	(21.1) 21.1	-	(92) 92	(92) 92	(515) 504	(515) 504	(-) -	(108.7) 106.3	(108.7) 106.3	(-) -	(-) -	(-) -	
			秋冬だいこん	(1.9) 1.9	(1.9) 1.9	-	(8) 8	(8) 8	(2,962) 3,188	(2,962) 3,188	(-) -	(56.3) 60.6	(56.3) 60.6	(-) -	(-) -	(-) -	
		裏作															
	普通畑	春夏作															
		秋冬作															
	計			(23.0) 23.0	(23.0) 23.0	-	(100) 100	(100) 100	/	/	/	(165.0) 166.9	(165.0) 166.9	-	-	-	
	合計			(23.0) 23.0	(23.0) 23.0	-	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	

※作付率は、地元聞き取りによる

※単位面積当収量：第67次～第71次東海農林水産統計年報 中津川市 水稻、秋冬だいこん 収量より算定

第3節 用水計画

1. 計画基準年

2. 計画かんがい方式            水田    湛水かんがい  
                                          輪換畑   畦間かんがい

かんがい期間（水 田）

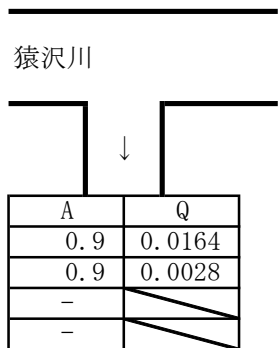
（第10表）

栽培方式	区分	代 掻		用 水 補 給		備 考
	期間	自    ~    至	日 数	自    ~    至	日 数	
特 早 期		~                    月	日	~                    月	日	
早 期		月 日 ~ 月 日	日	月 日 ~ 月 日	日	
普 通 期		4 月 23 日 ~ 4 月 23 日	1 日	4 月 24 日 ~ 8 月 13 日	112 日	

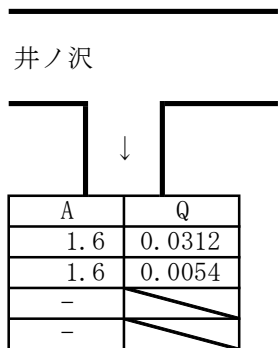
3. 計画用水系統（別紙計画用水系統図参照）

計画用水系統図

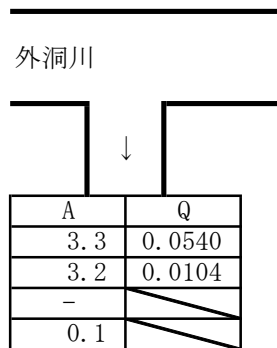
矢柱用水



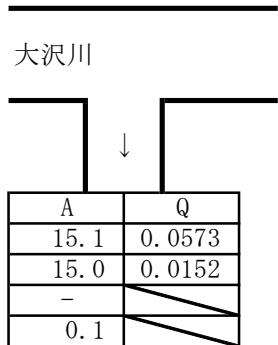
井の沢用水



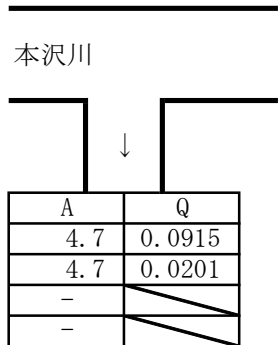
法力屋用水



大又用水



本沢用水



A:面積 (ha)	Q:用水量 (m3/s)
全体	代掻期
水田	普通期
輪換畑	
畑	

4. 計画用水量  
(1) かんがい用水

(第10表-1-1)

項目 系統名	種別	面積 (ha)			水田かんがい			畑地かんがい			田畑輪換						消費 水量 (m <sup>3</sup> /s)	損失 率 (%)	粗用水量		
		事業名			水田			普通畑 (樹園地)			水田かんがい			輪換畑かんがい					普通期	代掻期	
		農業用 排水 施設 整備	計	計	普通期	代掻期	面積 (ha)	1日当 計画平均 かん水深 (mm/日)	平均 間断 日数 (日)	面積 (ha)	普通期	代掻期	面積 (ha)	1日当 計画平均 かん水深 (mm/日)	平均 間断 日数 (日)	面積 (ha)			普通期 最大	代掻期 最大	
					計画 平均 単 位 用 水 量 (mm/日)	計画 代 掻 単 位 用 水 量 (mm/日)					計画 平均 単 位 用 水 量 (mm/日)	計画 代 掻 単 位 用 水 量 (mm/日)									
矢柱用水路	農業用水	0.9		0.9								19	120	0.9				0.0139	15	0.0028	0.0164
井の沢用水路	"	1.6		1.6								19	120	1.6				0.0265	15	0.0054	0.0312
法力屋用水路	"	3.3		3.3			5	5.0	0.1			21	120	3.2				0.0459	15	0.0104	0.0540
大又用水路	"	15.1		15.1			5	5.0	0.1			29	120	15.0				0.0487	15	0.0152	0.0573
本沢用水路	"	4.7		4.7								24	120	4.7				0.0778	15	0.0201	0.0915
計		25.6		25.6					0.2					25.4				0.2128		0.0539	0.2504

注) 1. 計画平均単位用水量、計画代掻単位用水量は系統別の減水深の荷重平均値、0は最大値。  
2. 計画平均かん水深は畑かん期間の1回当りの平均かん水深を平均間断日数で除した値。

(2) 営農飲雑用水 該 当 な し

5. 水源計画

(1) 水利用計画

(第10表-2)

項目 区分	消費水量 a (m <sup>3</sup> /s)	有効雨量 b (m <sup>3</sup> /s)	純用水量 c=a-b (m <sup>3</sup> /s)	粗用水量 d=c/(1-α) (m <sup>3</sup> /s)	現況利用可能水量			不足量		水源依存量		水源 工種	備考 損失率 : α	
					水源名	取水地点 利用 可能量 e (m <sup>3</sup> /s)	ほ場利用 可能量 f (m <sup>3</sup> /s)	純不足 水量 g=c-f (m <sup>3</sup> /s)	全不足 水量 h=d-e (m <sup>3</sup> /s)	水源名	水量 (m <sup>3</sup> /s)			
農業用 用排水 施設整備	0.0139	-	0.0139	0.0164	猿沢川	0.0164	-	-	-		0.0164		15%	
	0.0265	-	0.0265	0.0312	井ノ沢	0.0312	-	-	-		0.0312		15%	
	0.0459	-	0.0459	0.0540	外洞川	0.0540	-	-	-		0.0540		15%	
	0.0487	-	0.0487	0.0573	大沢川	0.0573	-	-	-		0.0573		15%	
	0.0778	-	0.0778	0.0915	本沢川	0.0915	-	-	-		0.0915		15%	
計	0.2128	-	0.2128	0.2504		0.2504	-	-	-		0.2504			

注) 1. 「区分」欄は農業用排水、区画整理、農用地造成等の分類。及び水田補水、畑かん等に細分。

2. 純用水量、田畑面利用可能量、純不足水量には損失を含まず、全不足水量には水路損失を含む。

(2) 用水対策

(ア) 貯水池 該当なし

(イ) 井堰及び自然取入口 該当なし

(ウ) 揚水機 該当なし

## (エ) 用水路

(第10表-6)

項目 名称	かんがい面積 (ha)			最大通水量 (m <sup>3</sup> /s)	延長 (m)	構造	備考
	事業名						
	農業用 用排水		計				
矢柱用水路	0.9		0.9	0.0164	(105) 170	(ポリエチレン管φ150) ポリエチレン管φ150	
井の沢用水路	1.6		1.6	0.0312	(476) 323	(BF350~300、ポリエチレン管φ300、内面補修U300B) ポリエチレン管φ250~φ200、台付管φ400	
法力屋用水路	3.3		3.3	0.0540	(1,472) 1,437	(U400*400、BF400、ポリエチレン管φ300) ポリエチレン管φ350~φ300、ソケット付U400、塩ビ管VUφ150	
大又用水路	15.1		15.1	0.0573	(630) 630	(PU3-300) PU3-400	
本沢用水路	4.7		4.7	0.0915	(244) 245	(BF500~300) BF600	
計	25.6		25.6	0.2504	(2,927) 2,805		

注) 「構造」欄はコンクリート、ブロック、管水路、土水路等の分類。

(オ) その他の水源施設 該当なし

(3) 水温水質(改良後の状況) 該当なし

第4節 排水計画

1. 計画基準雨量 中津川観測所記録による確率1/10年雨量 157.4mm

2. 計画排水方式 自然排水

3. 計画排水系統 (別紙計画排水系統図参照)

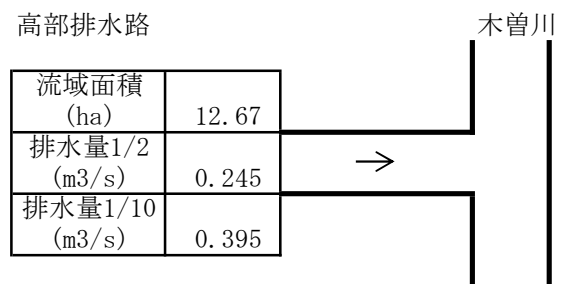
4. 計画排水量 (第11表-1)

排水系統名	受益面積 (ha)			流域面積 (ha)		基準雨量 (mm)	降雨による直接単位流出量 (m <sup>3</sup> /s/ha)		基底流出量 (m <sup>3</sup> /s/ha)		全排水量 (m <sup>3</sup> /s)			単位排水量 (m <sup>3</sup> /s/ha)	
	事業名			山地	平地		山地	平地	山地	平地	山地	平地		山地	平地
	農業用排水		計									自然排水	機械排水		
高部排水路	4.5		4.5	3.80	8.87	157.4	0.0222	0.0334	-	-	0.136	0.259	-	0.036	0.029
計	4.5		4.5	3.80	8.87										

5. 排水対策  
 (1) 排水水門 該当なし

(2) 排水機 該当なし

計画排水系統図



(3) 排水路

(第11表-4)

項目 名称	流域面積 (ha)	受益面積 (ha)			計画排水量 (m <sup>3</sup> /s)	延長 (m)	構造	排水本川			備考
		事業名						計画洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	計画洪水位 (m)		
		農業用 排水		計						名称	
高部排水路	12.67	4.5		4.5	0.395	(341) 324	(UU600*900) U型水路 B700*H1100				
計	12.67	4.5		4.5	0.395	(341.0) 324					

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

- 1. 貯水池 該当なし
- 2. 頭首工 該当なし
- 3. 揚水機 該当なし
- 4. 用水路

(第17表-4)

項目 水路名	かんがい面積 (ha)		通水量 (m <sup>3</sup> /s)	延 長 (m)			構 造	勾配	主要 構造物	備 考
	事 業 名			開 き よ	トンネル そ の 他	計				
	農業用 用排水	計								
矢柱用水路	0.9	0.9	0.0164	(-) -	(105) 170	(105) 170	(ポリエチレン管φ150) ポリエチレン管φ150			
井の沢用水路	1.6	1.6	0.0312	(378) -	(98) 323	(476) 323	(BF350~300、ポリエチレン管φ300、内面補修U300B) ポリエチレン管φ250~φ200、台付管φ400			
法力屋用水路	3.3	3.3	0.0540	(1,159) 814	(313) 623	(1,472) 1,437	(U400*400、BF400、ポリエチレン管φ300) ポリエチレン管φ350~φ300、ソケット付U400、塩ビ管VUφ150			
大又用水路	15.1	15.1	0.0573	(630) 630	(-) -	(630) 630	(PU3-300) PU3-400			
本沢用水路	4.7	4.7	0.0915	(244) 245	(-) -	(244) 245	(BF500~300) BF600			
計	25.6	25.6	0.2504	(2,411) 1,689	(516) 1,116	(2,927) 2,805				

注) 1. 「通水量」欄は計画通水量、「構造」欄はコンクリート、ブロック、管水路、土水路の分類。  
2. 基幹用水路の他、区画整理の中の小用水路も含む。

第2節 排水施設

1. 排水水門 該当なし

2. 排水機 該当なし

3. 排水路

(第18表-3)

項目 水路名	受益面積 (ha)		排水量 (m <sup>3</sup> /s)	延長 (m)			構造	勾配	主要構造物	備考
	事業名			開きよ	トンネル その他	計				
	農業用 用排水	計								
高部排水路	4.5	4.5	0.395	(341) 324	(-) -	(341) 324	(UU600*900) U型水路 B700*H1100			
計	4.5	4.5	0.395	(341) 324	(-) -	(341) 324				

注) 1. 「排水量」欄は計画排水量、「構造」欄はブロック・コンクリート欄渠・コンクリートU・V字溝・土水路の分類。

2. 基幹用水路の他、区画整理の小排水路も含む。

4. その他排水施設 該当なし

第6章 附帯工事計画

該当なし

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

1. 工期 (令和7年度)  
 着工予定 令和2年度 完了予定 令和10年度

2. 工事の年度割予定

単位：千円

年 度	全 体	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
農業用排水	(198,800) 279,044	(40,200) 21,635	(40,200) 53,496	(40,200) 37,450	(40,200) 9,466	(40,200) 81,305	(△ 2,200) 16,490	(-) 41,050	(-) 9,076	(-) 9,076
割合 (%)	(100) 100	(20) 8	(20) 19	(20) 13	(20) 3	(20) 29	(-) 6	(-) 16	(-) 3	(-) 3

第8章 環境との調和への配慮

1. 施工上の配慮

- ・土工実施に伴う下流水域への土砂流出を抑制するため、必要に応じ沈砂池等を設ける。
- ・整備実施にあたり、水路内での生物生息が顕著に見受けられる場合は、必要に応じ近隣の河川、水路等へ避難させる。

2. 田園環境整備マスタープランとの整合性

事業実施に際しては、田園環境整備マスタープランにおける環境配慮の方向性に則して行うものとし、計画段階からマスタープラン内容を反映させ、環境に配慮した事業を行う。

第9章 換地計画の概要

該当なし

第10章 事業費の総額及び内訳

(第26表)

事業費の総額 (213,990) 千円  
297,467

工事費 (198,800) 千円  
279,044

工雑及び  
地方事務費 (15,190) 千円  
18,423

工 種	事 業 量	事 業 費 (千円)	備 考
農業用排水施設整備	(3,268) 3,129 m		
工 事 費		(155,900) 242,530	
測 量 試 験 費		(42,900) 30,014	
用 地 補 償 費		(-) 6,500	
小 計		(198,800) 279,044	
工 事 雑 費		(5,000) 5,018	
地 方 事 務 費		(10,190) 13,405	
合 計		(213,990) 297,467	

第11章 効 用

(第27表)

区分 効果項目	農業用排水施設整備				
	年総効果額 (千円)	年総増加所得額 (千円)	年総効果額 (千円)	年総増加所得額 (千円)	
食料の安定供給の確保に関する効果	(10,511) 8,772	(13,231) 9,785			
農業の持続的発展に関する効果	(2,486) 4,555	-			
農村の振興に関する効果	(10,002) 17,924	-			
多面的機能の発揮に関する効果	-	-			
その他の効果	(1,614) 1,928	-			
計	(24,613) 33,179	(13,231) 9,785			令和7年度単価
総費用	(335,419) 431,049				
総便益額	(514,048) 895,786				
総費用総便益比	(1.53) 2.07				
総所得償還率	(9.7) 18.2				
増加所得償還率	-				

第12章 関連する事業 該当なし

第13章 現況・計画図面

別紙による